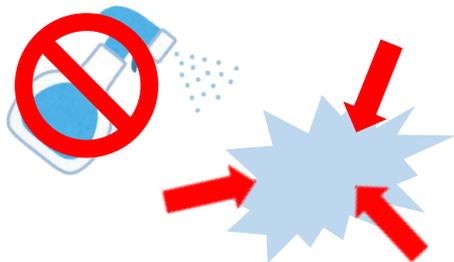


嘔吐物処理のポイント (手順編)

☑ 作業を
はじめる前に

- ☐ 個人防護服の着用
 - ☐ 0.1%濃度の次亜塩素酸ナトリウム消毒液の準備
 - ☐ 嘔吐物から入所者等を離れたところへ誘導
 - ☐ 作業部屋の換気
 - ☐ ペーパータオル等はあらかじめ多めに袋から出しておく。
- 不足時は、処理者以外が、補充する。

【注意点】



- ・嘔吐物に直接消毒液をスプレーで吹きかけると、病原体が巻き上がるため、直接噴きかけない。
- ・拭くときは、外側から内側に向け、一方向に拭く。

<p>1</p> <p>ペーパータオルで嘔吐物を除去する。(消毒液で浸した新聞紙等で広めに覆い、除去してもよい。)</p>	<p>2</p> <p>⚠ 床に、エプロンの裾・膝をつけない</p> <p>⚠ 外から中央へ</p> <p>新聞紙等は外側から中央に向けて集め、嘔吐物を拭き取る。</p>	<p>3</p> <p>2で使用した新聞紙等は、速やかにビニール袋に捨てる。(その際、廃棄物が十分に浸る量の消毒液をいっしょに入れてもよい。)</p>	
<p>4</p> <p>⚠ 表面に触れないように注意して外す</p> <p>手袋・シューズカバーを外し、3で使用したビニール袋に捨てる。新しい手袋・シューズカバーを着け、2重にしたビニール袋の1重目の口をしっかりと縛る。</p>	<p>5</p> <p>⚠ 嘔吐物から、半径2m以内を消毒</p> <p>壁際の場合は床から1.5mの高さまで</p> <p>除去した嘔吐物があったところを中心に半径2mを再度、消毒液で浸した新聞紙等で覆い、10分程度おく。10分経過後、外側から中央に向けて拭き集める。</p>	<p>6</p> <p>⚠ 汚染物が入っている袋の内側には触らない</p> <p>シューズカバー→手袋→マスクの順に外し、ビニール袋に捨て、口をしっかり縛る。</p>	<p>7</p> <p>⚠ 外から中央へ</p> <p>最後に消毒した場所を外側から中央に向け、水拭きする。※6までで消毒は終わっているため、水拭き時には防護具着用の必要性はなし。</p> <p>嘔吐物処理後は、液体石けんと流水による正しい手洗いを行う。</p>